

事例発表資料

令和5年2月10日

令和4年度「全国家庭教育支援研究協議会」

茨城県	1
和歌山県湯浅町	...	9

訪問型家庭教育支援の成果と課題



令和5年2月10日 茨城県教育庁 総務企画部
生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室 室長 永塚 広志

本県の概要



人口 284万人 うち0~18歳 42万人
世帯数 121万世帯

施設・学校	数	施設・学校	数
保育所	458	義務教育学校	15
幼稚園	205	高等学校	117
認定こども園	172	中等教育学校	6
小学校	450	特別支援学校	24
中学校	223		



ほしいも 今が旬！



イチゴ 隣県に負けない！



メロン 生産量日本一！

家庭教育支援施策体系

茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプラン

【旧プラン H30~R3 現プラン R4~7 数値目標 51指標】

施策1 社会全体での就学前教育・家庭教育の推進

施策2 幼児教育と小学校教育の円滑な接続

施策3 家庭の教育力の向上

施策4 個別的な配慮が必要な子どもへの支援

3
本
の
柱

学ぶ場の提供

学校・企業等での家庭教育学級の開催

情報の提供

「家庭教育応援ナビ」の運営

アウトリーチ支援

訪問型家庭教育支援の推進
【アクションプランの重点目標】



なぜ訪問支援に力を入れるのか？

多くの保護者は「学ぶ場」や「情報」にアクセスできず(せず)
またアクセスしても雑多な情報に右往左往し 孤立している

深刻な悩みを抱えている保護者ほど
相談窓口アクセスできず(せず) 一層 孤立している

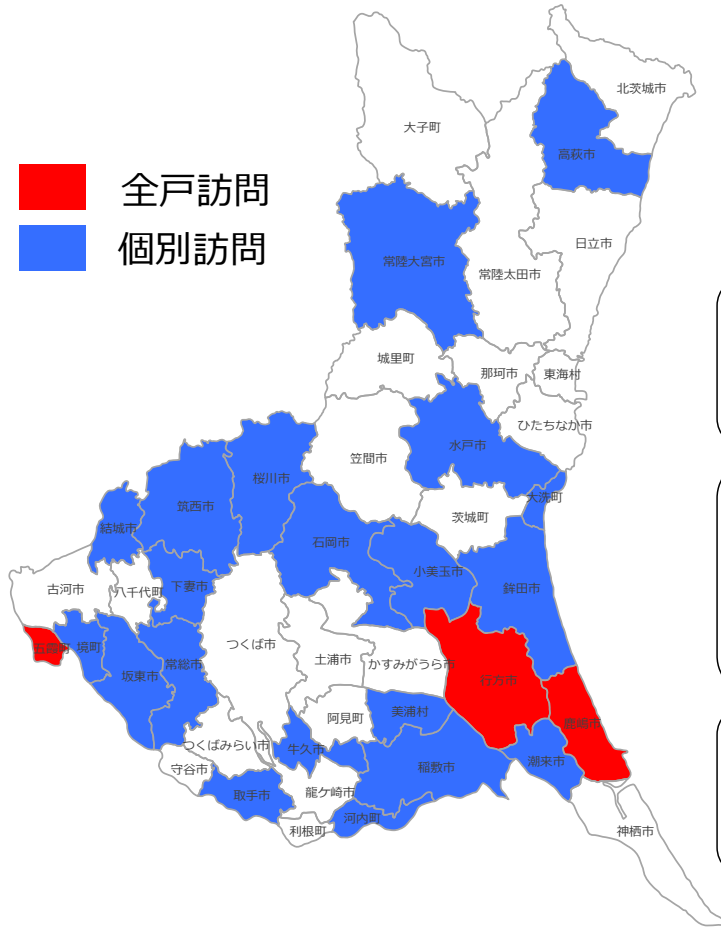
訪問支援による保護者への直接・個別アプローチ

保護者の良き相談相手、良き応援団となり、孤立を防ぐ

悩みや問題を早期に発見し、専門機関・部署へ繋ぐ



訪問支援体制(R4)



実施市町村 R4 23 / 44 (52%)
R5 26 / 44 (59%)

訪問支援員 138名

女性 95名 (69%)
男性 43名 (31%)

元教員 49名 (36%)
民生・児童委員 23名 (17%)
支援団体・NPO 10名 (7%)

同一市町村内 117名 (85%)
他の市町村 21名 (15%)



4

訪問支援内容(R4)

全戸訪問

- 小1の子を持つ家庭の全戸訪問
- 来年度小学校入学をする子を持つ家庭の全戸訪問

個別訪問例

- 来年度小学校入学をする子、小1・中1の子を持つ保護者で相談を希望する家庭の訪問
- 不登校の小中学生の子を持つ家庭の訪問
- 健診で子どもに心配な点が見つかった家庭の訪問
- 外国籍家庭の訪問
- 学校から支援の依頼があった家庭の訪問

訪問時期

ほとんどの市町村は2学期



5

訪問支援の成果(R3)

高い改善率 65.5%

訪問家庭 436 内訳：全戸(2市町) 268、個別(15市町村) 168
うち 168家庭が相談 ⇒ 110家庭が改善

※ 改善：保護者や子どもに好ましい状態が継続的に見られる

相談内容	相談数	改善数	改善率
不登校(園)	40	26	65%
子育て	39	30	76.9%
学校生活	24	20	83.3%
子の障害と病気	13	8	61.5%
全 体	168	110	65.5%



6

成果を高めるための取組 1

訪問支援員資質向上研修の充実

R4研修メニュー

動画制作・配信

「家庭教育関係基礎研修」

5～9月 計8本

「支援員資質向上研修」

7～12月 計7本

合計15本

集合研修（年2回）

11月 講義、意見交換会

※8月にも予定していたが、中止



他市町村支援員の活動を参考にする
そして 自分たちの活動に自信をもつ



7

成果を高めるための取組 2

スーパーバイザーの派遣

子育てや不登校、外国籍家庭支援などを専門とする大学教員、スクールカウンセラー等の外部専門家9名

派遣 ↓ 専門的な支援

各市町村で訪問支援後に実施する「ケース会議」



支援方法を改善して継続支援

「好事例集」の作成、共有

各市町村から訪問支援の好事例を収集して、共有 (R3~)。支援活動に活用してもらっている。

事例10 不登校 中学生1年生(女子)		
支援家庭の状況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校入学後、全く登校できない。 ・母子家庭で昨年度休校から転校した。母親は近くに相談できる人はおらず、地域から孤立していた。 ・さらに、子どもは不登校で次第に親子関係も悪くなってきた。 ・子どもは担任が家庭訪問しても会えない状況である。 ・母親は自分も不登校だったことで子どもに強く言うことができず、子育てに悩んでいる。 	
支援の内容	改善の結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・母親と子どもの両方に対して、夏休み明けから週1回、支援員が訪問し、母親の悩み相談と子どもの学習支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人の支援員は母親の悩み相談を聞き、もう一人の支援員は子どもと共通の趣味をきっかけに話ができるようになった。 ・9月は休校でオンライン学習だったことから、話す時間が取れるようになり、暑や時差に関する話題が増え、家以外の世界にも興味を示すようになった。 その結果、今までは外に出ることも嫌がっていた生徒が支援員と公園でサッカーをしたり、学校の図書室まで本を借りに行ったりすることができた。 	
保護者のコメント	支援員のコメント	市町村担当者のコメント
<p>支援員さんに悩みを話せて、気持ちが軽くなりました。自分と子どもだけの世界から外に踏み出す勇気がありました。おかげで、気持ちが前向きになり、仕事をすることができるようになりました。支援員がじっくりと話を聞いてくれたおかげです。本当に感謝しています。</p>	<p>難しいご家庭の支援で、最初は不安でしたが、支援員2人で支援しているので強いです。母親も精神的に不安定な時もありましたが、話を聞いてあげることで少しずつ落ち着いてきたと感じています。</p>	<p>転入後に、学校も保護者と信頼関係を築けずに苦慮していた家庭である。支援員が話をじっくりと聞いてくれたことで、母親が仕事に向かうためのエネルギーがわいたことは大きな成果である。そのことで、子どもにも好影響につながった。</p>



訪問支援実施市町村拡大のための取組

“オーダーメイド提案”

訪問支援未実施の市町村全てを訪問。その市町村の実情や課題に応じた訪問支援方法を提案。

【例】不登校児童が多ければ、その家庭を対象とした個別訪問を提案

他部局支援との違いを強調

保健・福祉部局の訪問支援

主として子どもの心身の成長度合いを確認

本事業

主として保護者の困り感や不安を解消

改善率のアピール

「好事例集」の提供

➡ 実施市町村の拡大 R3 : 19 → R4 : 23 → R5 : 26



訪問支援の課題 1

訪問支援員の確保と資質向上

支援員の尽力が全て

- 「家庭を訪問する」ことに長けているのは、やはり教員。
 - ⇒ 「退職校長会・教頭会」等への協力依頼
 - ⇒ 教育長等の人脈による紹介、広報誌等での公募
- 支援員の多くは「中高齢者」、保護者の多くは「Z世代」
両者に「世代間ギャップ」があるのは当然で、それを埋める努力を支援する側が行う必要がある。
 - (例) 「指導する、説教する」→「褒める、承認する」
 - ⇒ R4研修動画「世代間対立から対話へ」



10

訪問支援の課題 2

個別・継続支援を拒まれる

全戸訪問により悩みや問題がある保護者・家庭を把握できても、その後の個別、継続支援を拒否されてしまう。

困り感のない保護者の増大

例えば子どもが不登校気味であっても、それを問題と思わない、不安に感じない保護者が多くなっている。



大きな課題で、このような保護者・家庭にどのように対応したら良いのか？



11

訪問支援の課題3

望まれていない家庭訪問

「令和2年度 家庭教育支援の充実にに向けた保護者の意識に関する実態調査」

「子育てや家庭教育の相談や支援のために
家庭に訪問してもらおう支援」を期待するか



期待する	男性	5.5%
	女性	8.5%



一つの理想形（2市で実施）

秋の就学時健診会場に個別ブースを複数設置し、各ブースに支援員が待機。健診後に保護者(と子ども)に必ずブースに来てもらい、支援員との面談を実施。⇒ 実質的に「全戸訪問」

支援員の一人「今日は子育てで心配なことをお聞かせください」
(≠「心配なことはありますか?」)



今後の目標・展望

- 不登校をはじめとする保護者・家庭の悩みの相談窓口の一つとして定着
- 支援形態の多様化により個別訪問から全戸訪問へそして 早期発見、早期対処
- 支援を受けた人が、次は支援を届ける人になる「循環型支援体制」の構築



藤沢和雄元調教師の言葉

幸せな人間が 幸せな馬をつくる

家庭教育支援担当者の思い

幸せな保護者・大人が 幸せな子どもをつくる



14

ご清聴ありがとうございました
社会全体で家庭教育の支援を！

連絡先 shugaku@pref.ibaraki.lg.jp



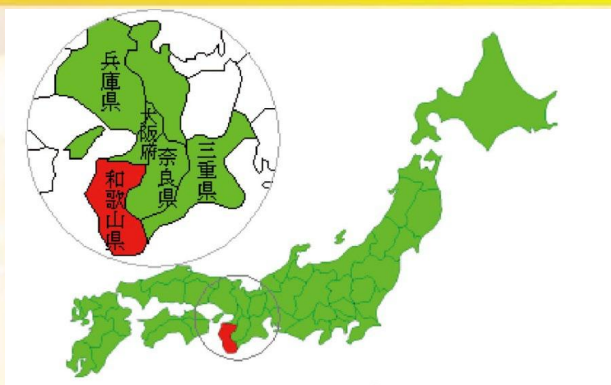
「今、なぜ家庭教育支援？」

～つながることの大切さ～

湯浅町教育委員会
家庭教育支援チーム
「とらいあぐる」

c	o	m	m	u	n	i	T	y	地域						
	s	u	p	p	o	R	t	支援							
	a	d	m	i	n	I	s	t	r	a	t	i	o	n	行政
	e	d	u	c	A	t	i	o	n	教育					
c	h	i	l	d	r	e	N	子ども							
							G	o	o	d	良い				
	s	c	h	o	o	L	学校								
							h	o	m	E	家庭				

和歌山県・有田郡・湯浅町



特産：**有田みかん**・びわ
アジ・サバの漁場
醤油・金山寺味噌

文化：熊野古道
伝統的建造物群保存地区

※醤油発祥の地

湯浅町の状況

R4年（4月1日現在）

- 人口：11,300人
- 小学校4校 児童数：514人（382世帯）
- 中学校1校 生徒数：279人（260世帯）
児童生徒数合計：793人（642世帯）
- 就学前 乳幼児数：358人（280世帯）
町立保育所（2所）
私立幼稚園（1園）
私立保育園（1園）
子育て支援センター（1ヶ所・町立保育所内）

3

今なぜ家庭教育支援？

①地域社会や家庭の状況

家庭

- 核家族化
- 単親家庭の増加
- 子育て経験の非継承
- 子育てへの無関心
- 親の価値観の多様化
- 経済的不安定
（子供の貧困）

地域

- 地域社会の希薄化
- 格差社会
（教育・経済・地域格差）
- 地方経済の衰退
- 情報化社会

保護者の不適切な養育
家庭教育力の低下等

児童虐待・DV
子どもの貧困 養育放棄
学校への過度な
クレーム etc.

今なぜ家庭教育支援？

②学校や家庭の課題

■以前：生徒指導上の問題行動

（校内暴力・器物損壊・窃盗・虞犯行為等）

子ども自身の問題
として

■近年：家庭環境・養育の問題

（不登校・いじめ・怠学・性非行等）

子どもを取り巻く
環境の問題として

原因

家庭・保護者の不適切な養育（虐待・DV等）

背景

- ◇保護者自身が不適切な養育の中で育った
- ◇子育て家庭の孤立化（単親、交友関係希薄等）
- ◇経済的不安定（子どもの貧困） etc.

5

今なぜ家庭教育支援？

③地域社会や家庭の課題に対して

地域社会の希薄化

↓ **子育てしにくい社会**

孤立していく家庭

- 家庭の多様化
- 困っている状況なのに、その事がわからない
- 支援が必要でも、それを自分から求められない

↓
地域ので

★地域での見守りや関わり
（子育て支援・家庭教育支援など）

6

課題解決のために…①

◇H20 スクールソーシャルワーカーを配置

- **学校・教職員への相談対応**支援
- 問題を抱えた児童生徒の**保護者への直接支援**
- **関係機関**（福祉・医療・要対協等）との**連携**

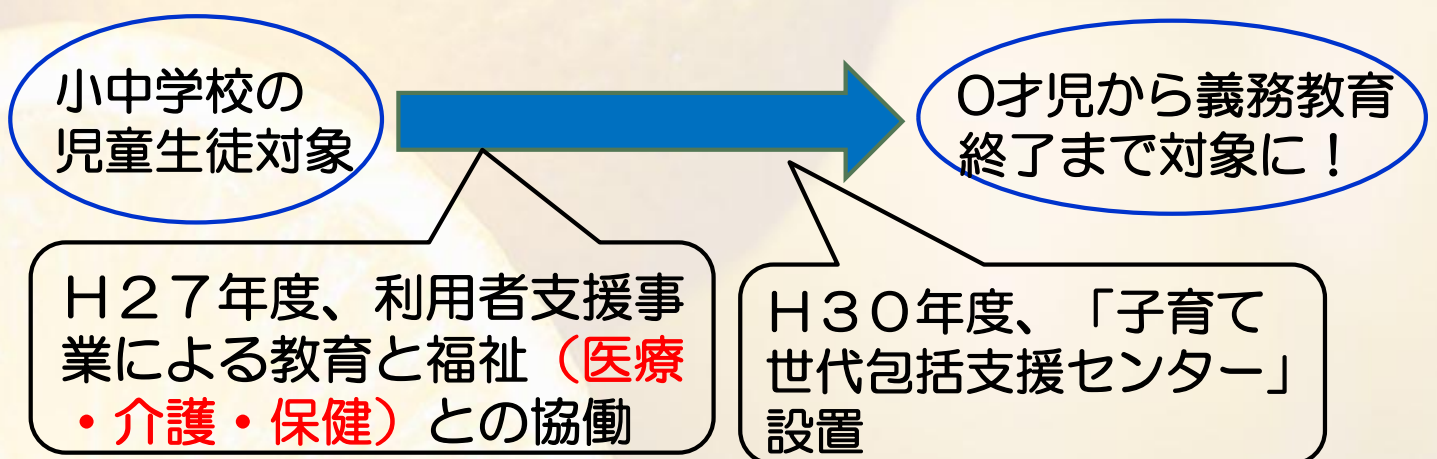
**「根本的な解決につながりにくい」
という課題に対してどうするか!?**

◇H21 訪問型家庭教育相談体制充実事業

- **支援が必要な家庭**へのアウトリーチ型支援として
SSWがチームリーダーとなり**家庭教育支援チーム**
「とらいあぐる」設立

7

課題解決のために…



アウトリーチで全戸家庭訪問
（全ての子どものために！）

問題の未然防止、早期発見・早期対応

何をどうするの？

①家庭教育支援事業の趣旨

「つながろう湯浅！」

～人と人がつながる家庭教育支援～

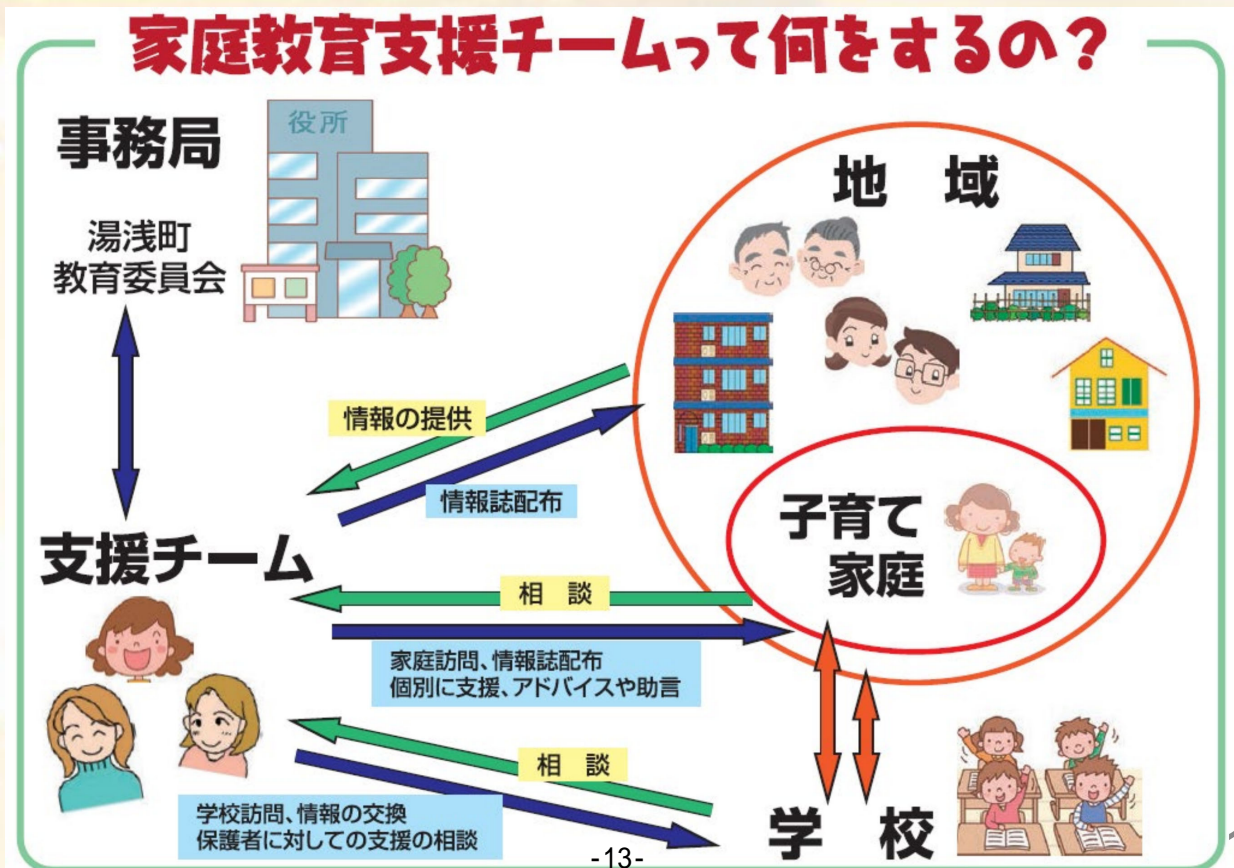


9

何をどうするの？

②家庭教育支援チームって何をするの？

家庭教育支援チームって何をするの？



何をどうするの？

③「とらいあんぐる」の主な活動

全戸家庭訪問

※支援が必要な家庭に対して、

具体的にどのような関わりを行っていけるのか？

- 家庭教育情報誌の作成・配布による啓発
- 家庭訪問によるつながりづくり・相談対応
- 家庭（保護者）への直接・間接的支援



講座の開催

家庭の安定＝子どもの健やかな成長

- ACTすこやか子育て講座（子育て中の保護者）
- 地域（乳幼児の保護者やお年寄り）
- 学校（親子学年行事等）

11

何をどうするの？

④子育て・家庭教育情報誌『すまいる』

「すまいる²」（幼保小中学生家庭用）毎月

「Babyすまいる」（乳幼児家庭用）年4回

「すまいる(全戸配布用)」（町内全世帯）年2

- コンセプト：「つながろう 湯浅！」
- 誌面構成：「園・学校等紹介」「漫画」「料理レシピ」「行事予定」等
- 内容：保護者、子育て経験者の視点
スクールソーシャルワーカーの視点
保育所、幼稚園、学校現場の視点
教育委員会の視点
地域での見守りの啓発

情報誌「すまいる」は
訪問の「ツール」
として使用

12

何をどうするの？

⑤情報誌「すまいる」訪問配布状況

家庭訪問による配布

A湯浅小学校区 約298世帯

B山田,田栖川,田村小学校区 約 84世帯

☆保育所,幼稚園,未就園児 約280世帯

C湯浅中学校区 約260世帯

※A・B・Cの3ブロックを3ヶ月のローテーションで訪問



13

こんなことも！

①親子参加型つながりづくり（学校・公民館）

■ キッズマナー教室



■ バルーンアート



■ 万華鏡作り



■ 親子料理教室



■ 和菓子作り



こんなことも！

②子ども・保護者・地域とのつながりづくり

■ 「収納術」講座



■ エコバッグづくり



■ スクラップブックキング



■ 夏休み工作教室



15

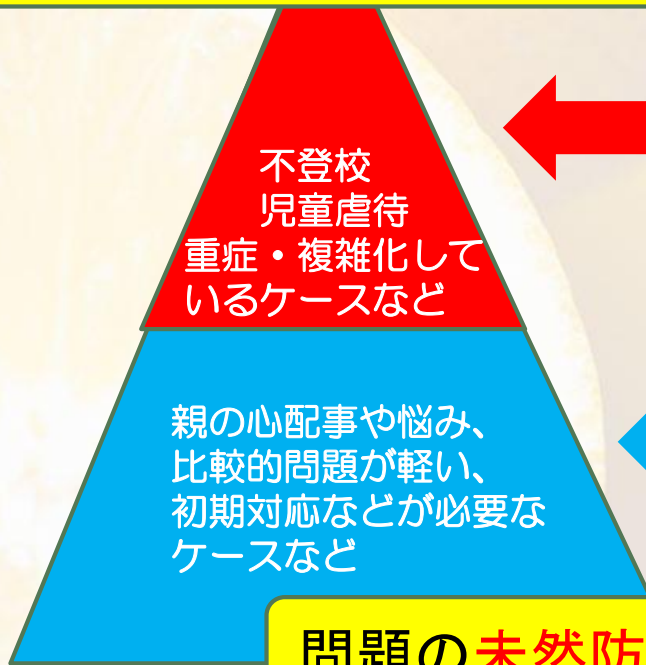
こんなことも出来るよ！

③「ACTすこやか子育て講座」



家庭支援の役割分担

問題の未然防止、早期発見・早期対応



SSW（支援リーダー）
・学校や各関係機関、専門
機関と連携しながら子ども
や保護者に対応

家庭教育（訪問）支援員
主任児童委員など
・状況把握や安全確認
・保護者に寄り添い話を聴き
続ける

17

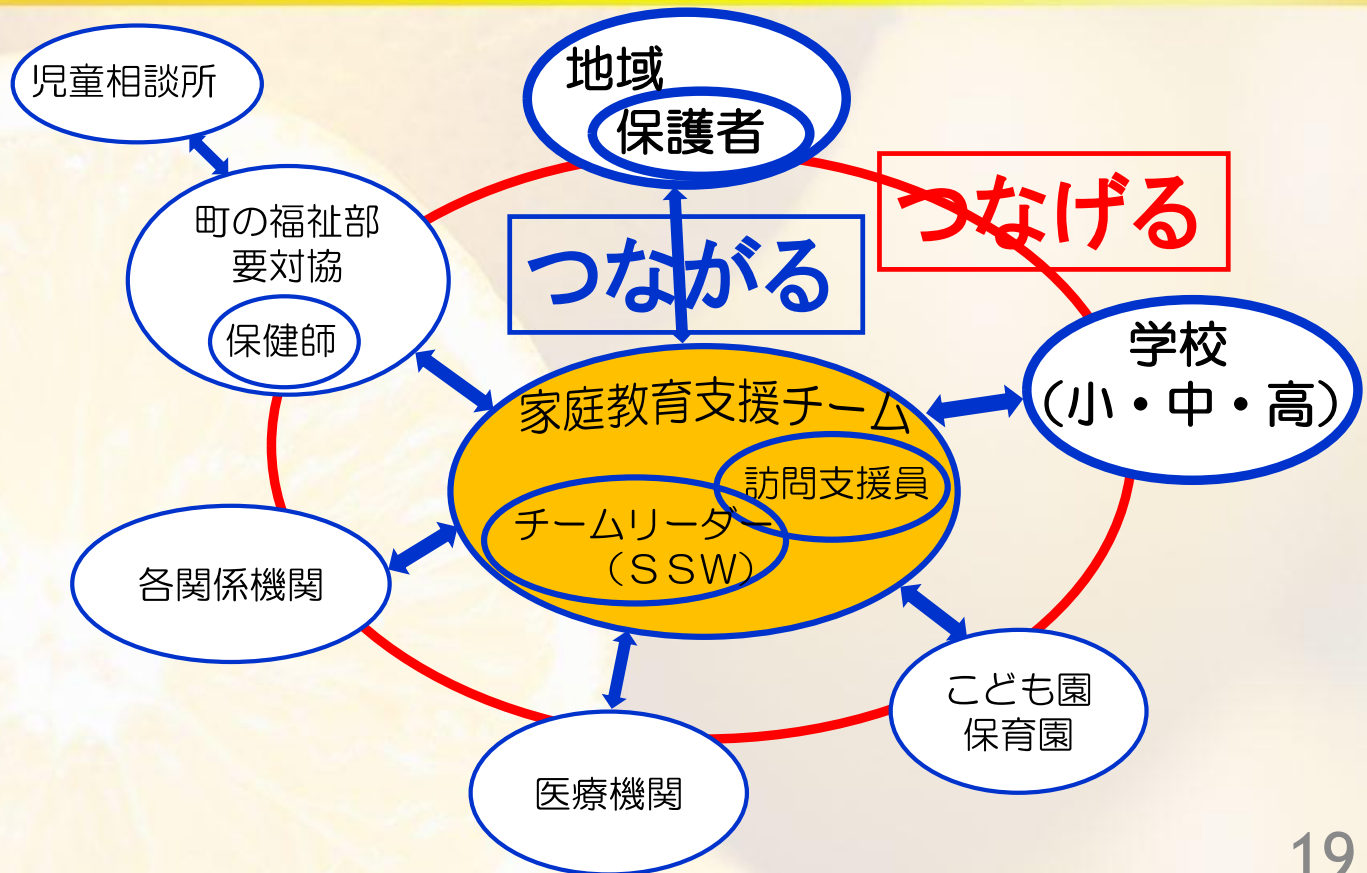
どんなことに気をつけるの？

①支援員の責務として

- 共感・傾聴ができる
- 個人情報と守秘義務の厳守
(要保護児童対策地域協議会の中で)
- 個人活動ではなくチーム活動として
- 研修受講等での支援員の資質向上
(県主催の研修やチーム内研修など)
- 支援員同士の親睦や情報共有の場づくり

どんなことに気をつけるの？

②「つながる」から「つなげる」へ



19

どんなことに気をつけるの？

③学校との連携

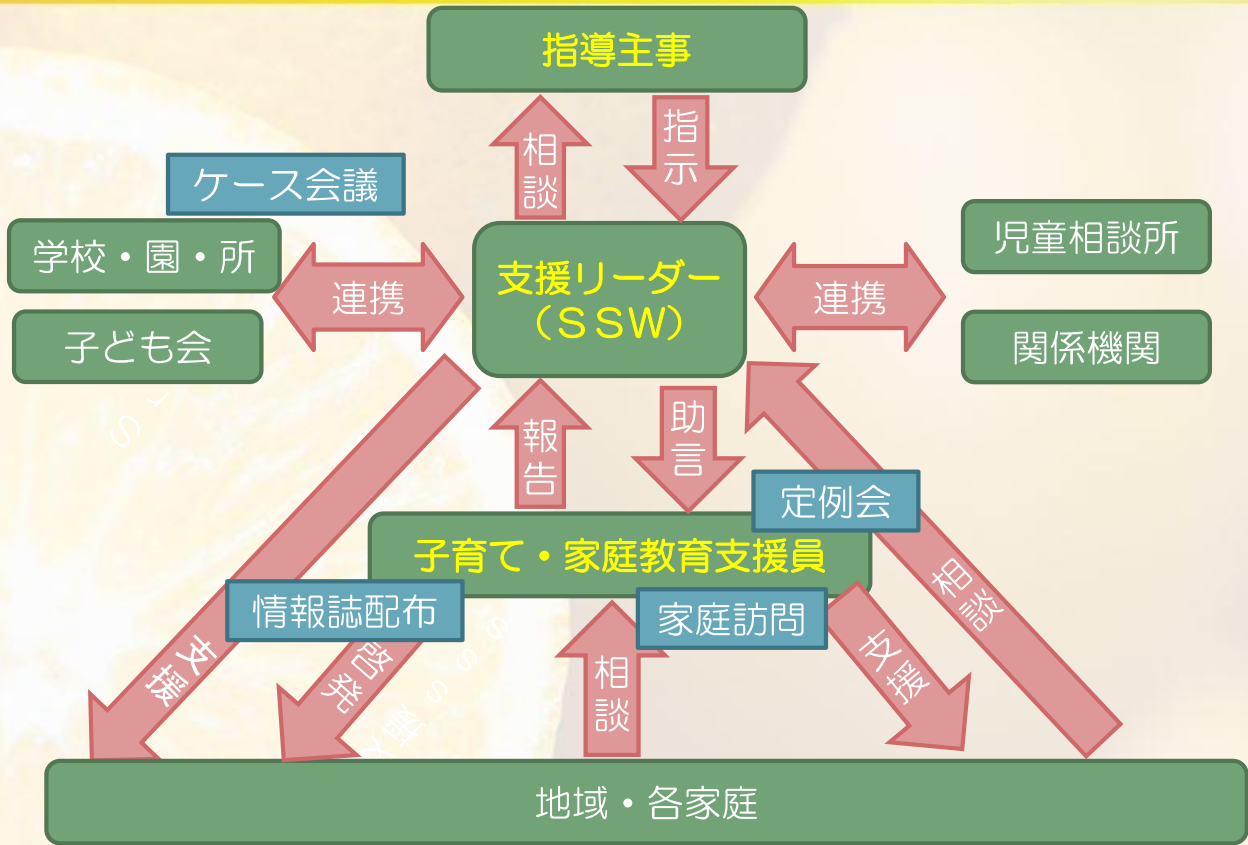
支援方針の共有

子どもや保護者にどのような支援をしていくのか？

- 学校との情報共有
 - ・ 家庭訪問後の報告（親の思い・学校への要望等）
- 個別ケース会義等での支援方針の共有
- 学校とSSW・地域の支援員と連携会議
- 小・中学校との連携会議
 - （小学校学習支援・中学校生徒指導・子ども会・指導主事・SSW）

どんなことに気をつけるの？

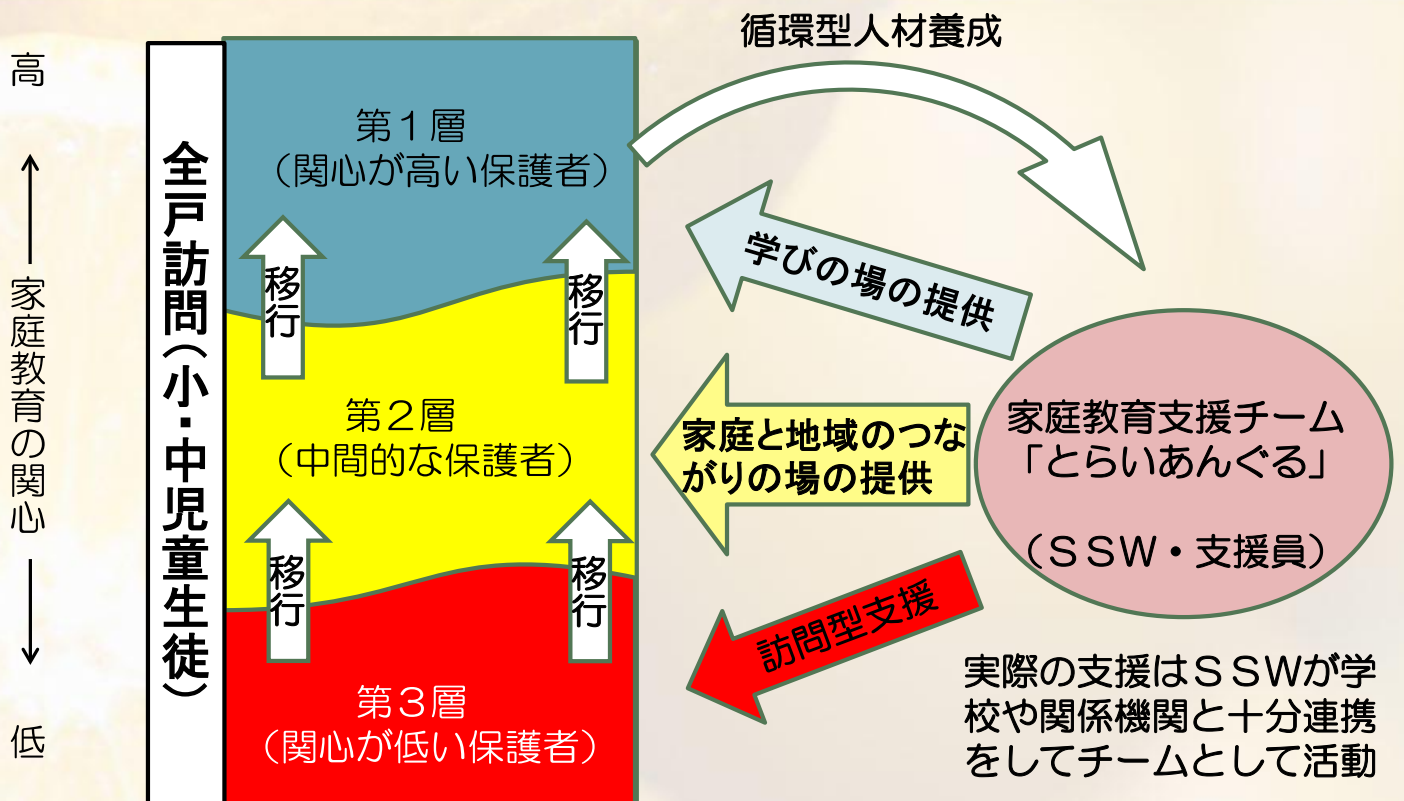
④ SSWを中心とした支援体制



21

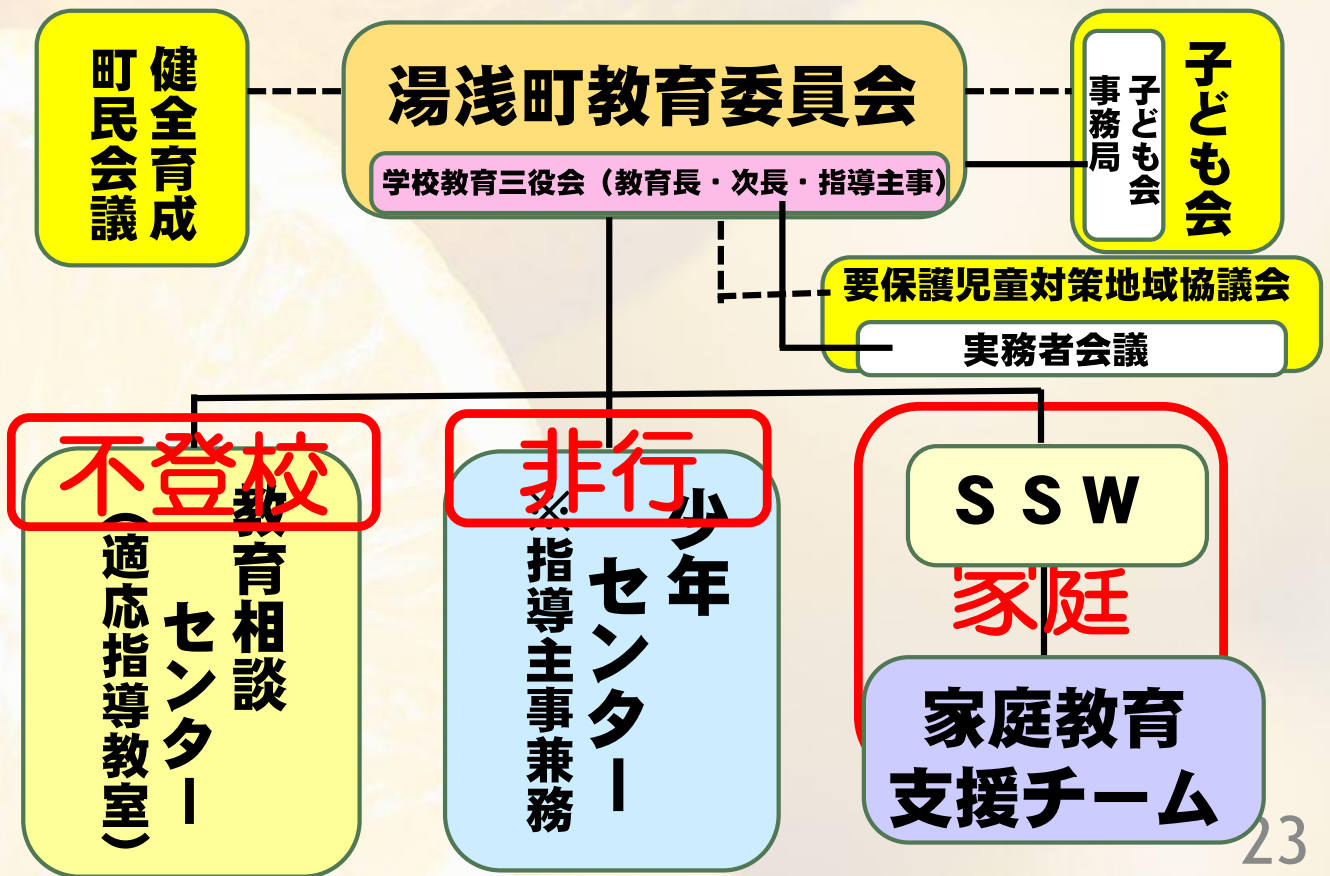
まとめ

① 家庭教育支援チームのねらい



まとめ

②湯浅町：子どもや家庭への支援体制



23

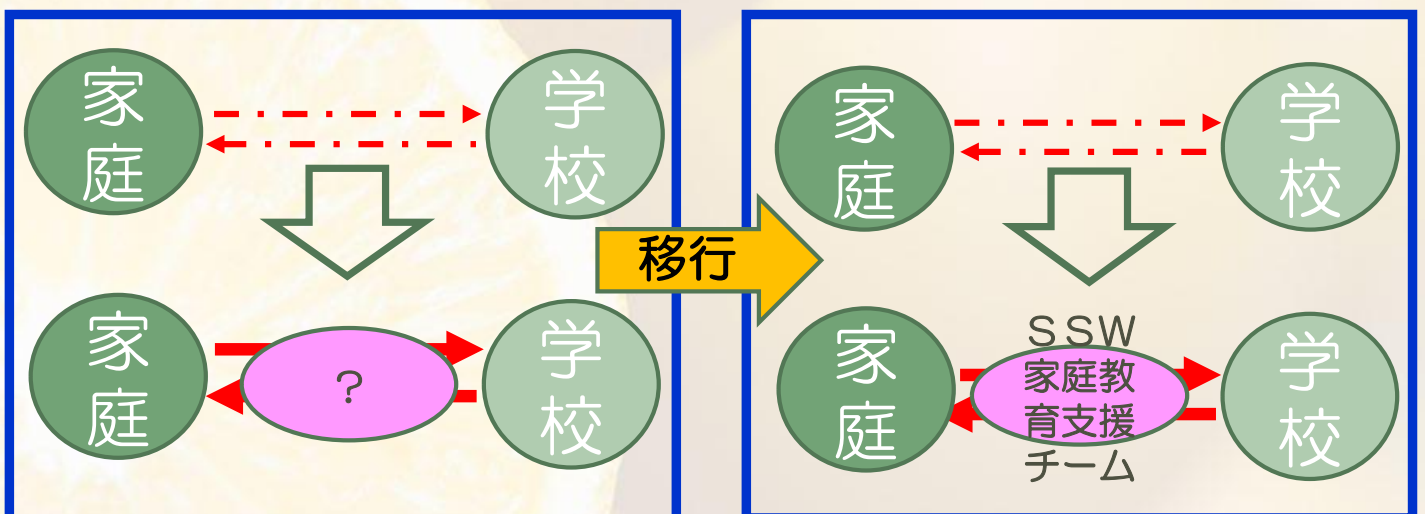
まとめ

③学校と家庭の連携強化を図るには？

課題

- ：家庭・保護者といかにつながるか？
- ：学校として、どこまで対応するのか？

「子どもの最善の利益」のために！



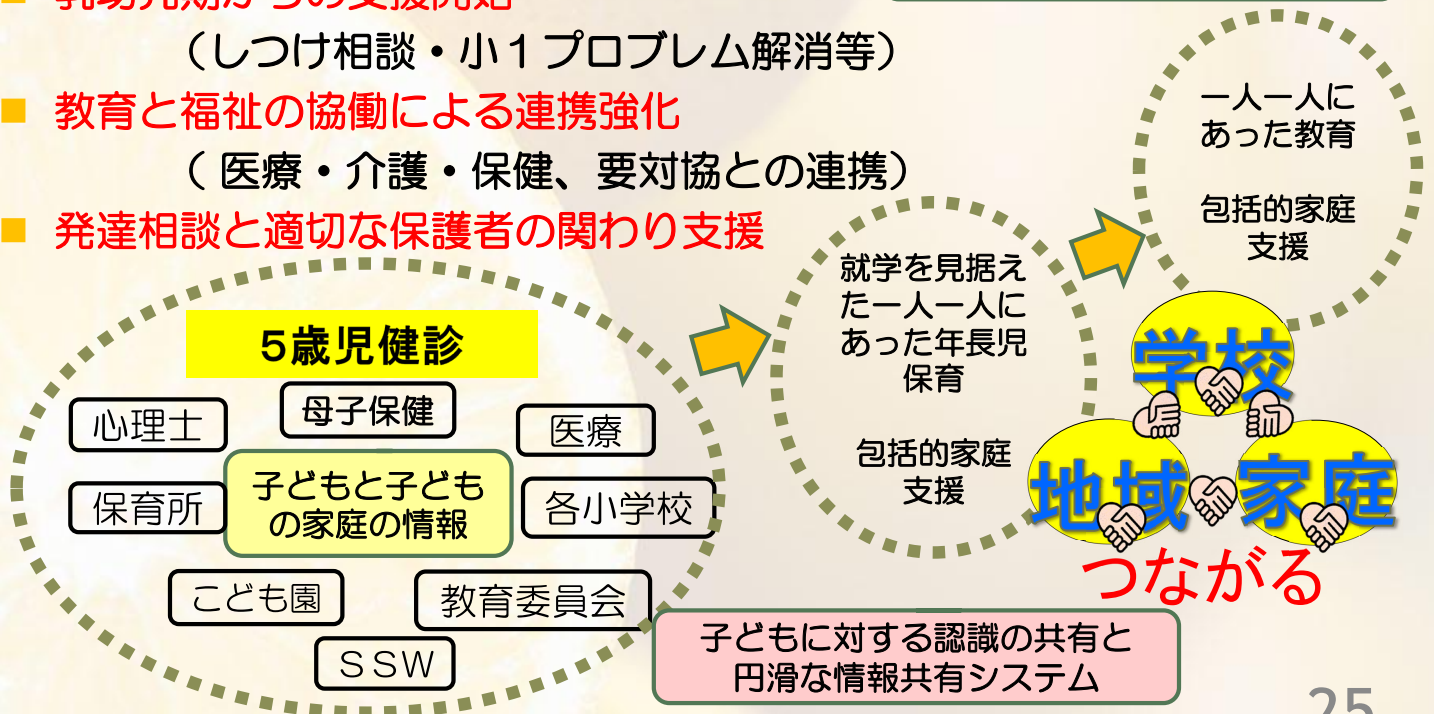
まとめ

④湯浅町の切れ目のない子育て支援

福祉と連携した訪問による成果

- **乳幼児期からの支援開始**
(しつけ相談・小1プロブレム解消等)
- **教育と福祉の協働による連携強化**
(医療・介護・保健、要対協との連携)
- **発達相談と適切な保護者の関わり支援**

子どもの発達を切れ目なく
支援し保障する継続プログラム



25

まとめ

⑤訪問型家庭教育支援の取り組みを通して

全戸訪問による成果

- **全世帯の状況把握が可能** (早期発見・対応)
- **問題発生時の迅速な対応** (日頃のつながりが有効)
- **気になる家庭への継続的な支援・見守り**
(意図的・計画的)
- **初回訪問の受け入れやすさ** (全戸・情報誌)
- **いつでも相談できる安心感** (定期的な訪問が有効)
- **不信感などの解消** (学校等へのクレーム減少)

- ・ 支援が必要な家庭への支援を届ける
- ・ 第三者が対応することのメリットが大きい

26

今後の課題

- 困り感のない家庭や拒否する家庭への支援
- 虐待家庭への対応
 - 「要保護児童対策地域協議会」の活用
 - ※ネグレクト家庭への対応
- 義務教育修了後の子どもや家庭への支援
- 学校（園・所）や関係機関と連携した効果的な支援
- 保護者同士のつながりづくり
- 対応スキル向上のための研修

27

地域のかと家庭教育支援の 3つのキーワード

いつでも（時間や日にち関係なく）

どこでも（スーパーや出会った所が支援の始まり）

いつまでも（生まれたときから終わりなく）

気づく（見つける）

見守る（寄り添う）

つなげる（関係機関につなげる）

さあ、始めましょう！
できるときに！できることを！できるだけ！

- 「困った子」は「困っている子」
- 虐待に限らず、未然防止・早期発見・早期対応が鍵を握る
- 「つながる・つなげる」こと、「聴き続ける」ことが大切

学校がよくなれば地域がよくなる
地域がよくなれば学校がよくなる

セーフティネットから抜け落ちる家庭を
アウトリーチで!!

29

ご静聴ありがとうございました

